

道路改良會規則

第一條 本會ハ汎ク道路改良ニ關スル方策ヲ講究シ道路ノ完備ヲ促進スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ道路改良會ト稱シ本部ヲ東京ニ置ク必要アルトキハ地方ニ支部ヲ置クコトヲ得

第三條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スルカ爲左ノ各號ノ事業ヲ行フ  
一、道路改良ニ關シ必要ナル事項ヲ調査研究スルコト

二、道路改良ニ關シ講演會、講習會、展覽會等ヲ開催スルコト

三、道路改良ニ關シ圖書ヲ刊行頒布スルコト

四、道路改良ニ關シ當局ノ諮問ニ應ジ又ハ關係當局ニ建議スルコト

五、前各號ノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業ヲ行フコト

第四條 本會ノ趣旨ヲ翼賛スル者ヲ以テ本會ノ會員トス

第五條 本會ノ經費ハ寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

第六條 本會ニ評議員若干名ヲ置キ會員總會ニ於テ之ヲ互選ス

第七條 評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織シ重要ナル事項ヲ議決ス

會長ニ於テ必要ト認メタルトキ若ハ評議員五名以上ノ請求アリタルトキハ評議員會ヲ招集スヘシ

評議員會ハ評議員總數五分ノ一以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス

第八條 本會ニ會長一名、副會長二名、理事及監事各若干名ヲ置キ評議員會ニ於テ之ヲ互選ス

第九條 會長ハ本會ヲ代表シ一切ノ會務ヲ統理シ會員總會

及評議員會ヲ招集シ其ノ議長トナル  
副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス理事ハ會務ヲ掌理ス會長ハ理事中ニ就キ常務理事及會計主任理事ヲ指名スルコトヲ得

監事ハ會務ヲ監査ス

第十條 評議員ノ任期ハ三年トシ其ノ他ノ役員ノ任期ハ評議員ノ任期ニ從フ但シ重任ヲ妨ケス

補闕員ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期間トス

第十一條 評議員其ノ他ノ役員ハ總テ名譽職トス

第十二條 本會ニ幹事、書記若干名ヲ置キ會長之ヲ任命ス

第十三條 本會ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十四條 每年春季定時會員總會ヲ招集シテ必要事項ヲ附議シ事務會計ノ報告ヲ爲スヘシ

會長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ臨時會員總會ヲ招集スルコトヲ得但シ緊急ノ場合ニ於テハ評議員會ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第十五條 評議員會ノ議ヲ經テ本會ニ緣故アル名士ヲ顧問ニ推戴スルコトヲ得

第十六條 評議員會ハ議ヲ經テ特ニ本會ニ功勞アル會員ヲ名譽會員ニ推薦スルコトヲ得

第十七條 本規則ハ評議員會ニ於テ出席評議員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第十八條 本會創立ノ際ニ限リ顧問、會長、副會長、理事及監事ハ本會及第十四條ノ規定ニ拘ハラズ發起人會ニ於テ之ヲ選舉ス

大正十年十二月九日印刷

大正十年十二月十二日發行

東京市麴町區大手町內務省內

發行者 道路改良會

同

編輯者 都筑通督

同

印刷者 都筑通督

東京市小石川區久堅町一〇八

印刷所 博文館印刷所

道路改良

第四輯

建議集

道路改良會

本冊子は第一回事務報告書に説明したる建議書  
を集録したるものなり。

- 技術者海外派遣ニ關スル件……………一
- 道路工學ノ振興ニ關スル件……………九
- 道路材料中央試験所設置ニ關スル件……………一七

# ○技術者海外派遣ニ關スル件

## 建議書

我邦ノ道路ハ從來概ネ低速輕量ナル牛馬車等ノ通行ニ供スルヲ目的トセルヲ以テ路面脆弱幅員亦狹小ニシテ且屈曲甚シク之ヲ實質上ヨリ觀ルトキハ砂利道ト稱セムヨリ寧ロ砂利著セ土砂道ニ屬シ工法ノ上ヨリ觀ルトキハ單ニ踏ミ固メヲレクル道路ニ過キスシテ殆ト天然道ト擇フ所ナシ橋梁ノ如キ亦其ノ構造多クハ粗惡ニシテ耐力孰レモ小弱ナリ殊ニ國道及府縣道ニシテ今日尙賃取橋又ハ渡船ニ依リテ僅ニ交通ノ連絡ヲ圖ルモノ少カラズ其ノ不利不便蓋シ意料ノ外ニアリ然ルニ近時産業ノ發達ハ一般運輸交通ノ激増ヲ促シ高速重量ナル車輛ノ使用漸ク盛ナラムトスルニ方ツテ早クモ已ニ交通ノ雜踏ヲ來シ著シク危險ノ度ヲ増

加セルノミナラス路面ノ如キ亦爲ニ屢々破損ヲ生シ隨テ修ムレハ隨テ損シ修補ハ常ニ之ト相伴フ能ハス從テ運輸交通ノ不利益々甚シキヲ訴フルニ至リ時勢ノ進運ニ伴フ能ハサラムトス於是乎本會ハ夙ニ思ヲ全國道路ノ改良ニ致シ先ツ東京市路面改良ノ案ヲ定メテ客年既ニ之ヲ發表シ次テ東京神戸間國道改良ノ調査ニ着手シ近ク之カ成案ヲ發表セムトス惟フニ道路改良ノ事業タルヤ假令鉅萬ノ財ヲ糜スモ計畫其ノ當ヲ失シ施行其ノ宜シキヲ得サルニ於テハ能ク其ノ效果ヲ收ムルコト難シ是レ曩ニ本會カ道路改良ノ調査ヲ始ムルニ方リ先ツ手ヲ東海道路筋ノ交通情勢ノ調査ニ下シタル所以ニシテ畢竟之ニ依リテ道路ノ幅員路面ノ構造其ノ他必要ナル規格ヲ決定スルノ資料ヲ得以テ計畫ノ適切ナラムコトヲ期シタルニ外ナラス

由來道路ノ勾配屈曲ノ如キハ交通ノ性質地形ノ關係等ニ依リ準繩ノ自

ラ定マル所アルノミナラス其ノ應用モ亦比較的單純ナルヲ常トスト雖路面ノ構造ノ如キハ大ニ之ト其ノ趣ヲ異ニシ學ト術トヲ要スルコト甚タ大ナルモノアリ之ヲ歐米各國ニ於ケル近況ニ觀ルニ既往一世紀ニ亘リ永ク路面構造ノ適種トシテ都鄙ヲ通シ汎ク實用セラレタル水締メ、マカダム道ノ如キハ遂ニ輓近十數年來急速ニ發達セル自動車ノ頻繁ナル走行ニ耐ヘサルニ至リ各國競フテ力ヲ之カ改善ニ致シ更ニ進テ他ノ新適種ノ發明ニ努メ且年々鉅費ヲ投シテ幾多ノ試驗工事ヲ行ヒ以テ益々經濟的の路面構造ノ研究ヲ進メ今ヤ其ノ種類ノ如キ數十ノ多キニ及ヒ交通ノ量ト質トニ應シテ各其ノ工法ヲ異ニセルノミナラス之ニ要スル材料ノ選擇配合ノ如キ亦全ク學理ニ基キテ愈々巧緻ヲ極メ其ノ工法ノ如キ既ニ改良ノ域ヲ超ヘテ寧ロ新奇ヲ競ヒ卒方ニ入神ノ妙技ヲ要スルニ至レリ若シ夫レ橋梁ニ至リテハ道路築造用具ノ進歩貨物自動車積量ノ

増大又其ノ連絡運輸ノ發達等ニ伴フテ益々耐力累進ノ必要ヲ認メ其ノ經濟的形式ノ選定構造ノ改良舊橋補強ノ方法等之カ研鑽ニ日モ尙足ラサルノ實情ニ在リ聞クカ如クムハ貴府(縣)ニ於テ

○東京府 東海道外三國道ノ改修ニ着手シ尙帝都環狀線府縣道ノ改修ヲ計畫シ以テ近代交通ノ要求ニ應セムトスト

○神奈川縣 京濱間國道ノ改修ニ着手シ尙東京橫須賀線國道ノ改修ヲ計畫シ以テ近代交通ノ要求ニ應セムトスト

○靜岡縣 東海道國道中大井川外四太橋ノ架設及箱根外二險路ノ改修ヲ計畫シ以テ近代交通ノ要求ニ應セムトスト

○愛知縣 東海道線及岐阜線國道ノ改修竝之ニ伴フ木曾川ノ架橋其ノ他府縣道ノ改修ヲ計畫シ以テ近代交通ノ要求ニ應セムトスト

○三重縣 東海道線中鈴鹿峠ノ改修ヲ計畫シ以テ近代交通ノ要求ニ應セムトスト思フニ揖斐長良ノ二大川ノ如キ橋梁ヲ架設シ國道改良政策ノ遂行ヲ見ルコト近キニアラ

○京都府 (前文實情ニ在リノ次ニ)聞ク大阪兵庫兩府縣ニ於テハ既ニ阪神間國道ノ改修



ニ着手シ近代交通ノ要求ニ應セムトスト思フニ京阪間國道モ亦改修ノ計畫成リ阪神間ト共ニ經濟的交通線ノ表現ヲ見ルコト近キニアラム

○大阪府兵庫縣||阪神間國道ノ改修ニ着手シ以テ近代交通ノ要求ニ應セムトスト

○千葉縣||國道千葉街道其ノ他府縣道ノ改良ヲ計畫シ以テ近代交通ノ要求ニ應セムトスト

○福岡縣||國道二號路線中黑崎折尾兩町間ノ改修ヲ計畫シ以テ近代交通ノ要求ニ應セムトスト

固ヨリ優秀堪能ノ専門家ヲシテ其ノ事ニ當ラシメ以テ萬全ノ策ヲ講セラル、ヲ疑ハスト雖我邦從來ノ道路橋梁其ノ他都市土木ノ甚シク幼稚ナルニ比シ歐米諸國ニ於ケル近代式構造ハ即チ學ト術トノ精華ヲ極メテ漫リニ他ノ模倣ヲ許サ、ルモノアリ而モ學ハ尙東西ヲ隔テ、之ヲ學フコトヲ得ヘシト雖術ハ實地ニ就テ親ラ之ヲ修習スルヲ必要トス仍テ此ノ際有爲ノ技術家兩三名ヲ米國ニ派遣シ以テ親シク該地ニ於ケル近代進步ノ現況ヲ視察見學セシメ其ノ結果ヲ參酌シテ我邦ノ風土交通ニ

應スル最善ノ計畫ヲ定メ實施上萬遺算ナキヲ期スルト共ニ規範ヲ全國各府縣ニ示サレムコト切望ノ至ニ堪ヘス茲ニ本會理事會ノ議決ヲ經意見書提出候也

大正九年六月二日

道路改良會

會長 水野 鍊太郎

顧問 男爵 澁澤 榮一

東京府知事 阿部 浩殿

神奈川縣知事 井上 孝哉殿

靜岡縣知事 關屋貞三郎殿

愛知縣知事 宮尾 舜治殿

三重縣知事 山脇 春樹殿

大京都府知事 馬淵銳太郎殿

示々、大阪府知事 池松 時 和殿

、實業兵庫縣知事 有 吉 忠 一殿

、千葉縣知事 折原 已 一郎殿

、福岡縣知事 安河内 麻 吉殿

### 建 議 書

本會夙ニ思フ全國道路ノ改良ニ致シ先ツ東京市内路面改良ノ計畫ヲ定  
客歲之カ速成ニ關スル意見ヲ發表東京市ハ具陳スル所アリシニ幸ニ  
採納セラレテ既ニ市會ノ議決ヲ經今ヤ之カ實行ヲ觀ルニ至ラムトセリ  
雅フ路面改良ノ事業タル假令鉅萬ノ財ヲ糜スモ施工宜シキヲ得サル  
ニ於テハ終ニ其ノ效ヲ收メ難キノ虞ナシトセス今之ヲ歐米諸國ノ實況

ニ觀ルニ何レモ奮テ路面ノ改良ヲ企圖スルト共ニ經濟的構造ノ研究ニ竭シ克ク交通ノ量ト質トニ應シ其ノ種類ノ如キ今ヤ數十種ノ多キヲ算スルニ至リ之ニ要スル材料ノ選擇配合ノ如キ全ク學理ヲ基礎トシテ巧緻ヲ極メ其ノ工法ノ如キ改良以外更ニ進テ新奇ヲ競ヒ爲ニ其ノ局ニ當ル者ハ入神ノ妙技ヲ要スルニ至レリ而シテ近代式路面ノ施工ニ付テハ學ト術トヲ要スルコト亦頗ル多大ニシテ而モ學ハ尙東西其ノ地ヲ異ニシテ之ヲ學フヲ得ヘシト雖術ニ至リテハ實地ニ就テ之ヲ習修スルヲ必要トス仍テ此ノ際有爲ノ技術家兩三名ヲ米國ニ派シ親シク彼ノ地ニ於ケル近代路面ノ構造ノ實況ヲ視察見學セシメ其ノ結果ヲ參酌シテ適應ノ實施設計ヲ定メ施工上萬遺算ナキヲ期スルト共ニ範ヲ全國ノ都市ニ示サレムコトヲ切望ス茲ニ本會理事會ノ議決ヲ經意見書提出候也

大正九年六月二日

道路改良會

會長 水野練太郎

顧問 男爵 澁澤榮一

東京市長 田尻稻次郎殿

橫濱市長 久保田政周殿

名古屋市長 佐藤孝三郎殿

京都市長 安藤謙介殿

大阪市長 池上四郎殿

神戸市長 鹿島房治郎殿

○道路工學ノ振興ニ關スル件

建議書

輓近殖産興業ノ異常ナル發達ト相伴ヒ交通機關ノ改造益々其ノ急ヲ告ケ列強何レモ競テ力ヲ此ニ致ササルハアラス而シテ今ヤ我國ニ於テモ道路ヲ利用スル新式交通用具ノ使用日ヲ逐フテ益々旺盛ヲ加ヘムトスルノ時ニ方リ道路ノ舊態ヲ革メテ之カ改善發達ヲ促進シ以テ世運ノ進展ニ順應スルハ方ニ及時喫緊ノ要務タリトス是レ曩ニ道路ニ關スル統一的法規ノ制定ヲ見タル所以ニシテ之ニ依リ我國道路ノ行政ハ茲ニ一新紀元ヲ劃スルニ至リタリト雖愈々進テ道路ノ實質ヲ改善シ社會ノ進運ト相應シ克ク交通ノ目的ヲ達成セムトセハ學識技能共ニ優秀堪能ナル多數ノ專門家ヲ要スヘキハ固ヨリ言ヲ俟タス聞ク政府ニ於テハ近ク數億圓ノ道路公債ヲ發行シ全國ノ國道及大都市内ノ道路改正ノ速成ヲ圖ルト共ニ各府縣ニ道路技師以下專門職員ヲ特設スルノ議アリト而モ廣汎ナル學識ト優秀ナル技能トヲ兼備スル專門家ノ養成ハ之ヲ最高學

府ノ教育ニ俟タザルベカラズ然ルニ之ヲ我國ノ現狀ニ觀ルニ道路ニ關  
スル學術ノ研究ハ尙未タ幼稚ノ域ヲ脫スル能ハスシテ現ニ帝國大學工  
學部ニ於テスラ道路工學ハ僅ニ土木工學ノ一講座ニ分屬スルニ過キサ  
ルヲ見ルモ之ニ關スル學術カ他ニ比シテ甚シク輕視セラル、ノ傾向ア  
ルハ爭フヘカラサル所ナルノミナラス斯學ニ關シ未タ多士濟々ヲ以テ  
自ラ居ル能ハサルノ觀アルハ寔ニ遺憾トセサルヲ得ス之ヲ列強カ其ノ  
最高學府ニ道路工學ノ獨立學科ヲ設ケ深遠ナル學理ヲ基礎トシ近代的  
交通用具ノ發達ニ適應セル道路ノ經濟的築造ノ研究ニ力ヲ竭シツ、ア  
ルニ想到セハ我國道路技術ノ進歩セサル敢テ怪ムニ足ラサルナリ依テ  
政府ニ於テハ如上我國道路工學教授上ニ於ケル缺陷ヲ調査スルト共ニ  
現代社會ノ必需ニ應スルカ爲此ノ際帝國大學工學部ニ道路工學ノ獨立  
學科ヲ設置セラレ優秀ナル專門技術者ノ養成ヲ企圖セラレムコトヲ望

茲ニ本會理事會ノ議決ヲ經建議候也

大正九年六月十日

道路改良會

會長 水野練太郎

顧問 男爵 澁澤榮一

九州帝國大學總長 眞野 文二殿

京都帝國大學總長 荒木寅三郎殿

東京帝國大學  
總長 男爵 山川健次郎殿

文部大臣 中橋徳五郎殿

### 建議書

輓近殖産興業ノ異常ナル發達ト相伴ヒ交通機關ノ改造益々其ノ急ヲ告



ケ列強何レモ競テ力ヲ此ニ致サ、ルハアラス而シテ今ヤ我國ニ於テモ  
道路ヲ利用スル新式交通用具ノ使用日ヲ逐フテ益々旺盛ヲ加ヘムトス  
ルノ時ニ方リ道路ノ舊態ヲ革メテ之カ改善發達ヲ促進シ以テ世運ノ進  
展ニ順應スルハ方ニ及時喫緊ノ要務タリトス是レ曩ニ道路ニ關スル統  
一的法規ノ制定ヲ見タル所以ニシテ之ニ依リ我國道路ノ行政ハ茲ニ一  
新紀元ヲ劃スルニ至リタリト雖愈々進テ道路ノ實質ヲ改善シ社會ノ進  
運ト相應シ克ク交通ノ目的ヲ達成セムトセハ學識技能共ニ優秀堪能ナ  
ル多數ノ専門家ヲ要スヘキハ固ヨリ言フ俟タス聞ク政府ニ於テハ近ク  
數億圓ノ道路公債ヲ發行シ全國ノ國道及大都市内ノ道路改正ノ速成ヲ  
圖ルト共ニ各府縣ニ道路技師以下専門職員ヲ特設スルノ議アリト而モ  
廣汎ナル學識ト優秀ナル技能トヲ兼備スル専門家ノ養成ハ之ヲ最高學  
府ノ教育ニ俟タサルヘカラス然ルニ之ヲ我國ノ現狀ニ觀ルニ道路ニ關

スル學術ノ研究ハ尙未タ幼稚ノ域ヲ脫スル能ハスシテ現ニ帝國大學工學部ニ於テスラ道路工學ハ僅ニ土木工學ノ一講座ニ分屬スルニ過キサルヲ見ルモ之ニ關スル學術カ他ニ比シテ甚シク輕視セラル、傾向アルハ爭フヘカラサル所ナルノミナラス斯學ニ關シ未タ多士濟々ヲ以テ自ラ居ル能ハサルノ觀アルハ寔ニ遺憾トセサルヲ得ス之ヲ歐米ノ實況ニ觀ルニ何レモ競ツテ新適種工法ノ發明ニ努メ廣汎ナル學理ニ基キ愈巧緻ヲ極メ益々經濟的構造ノ研鑽ニ日モ尙足ラサルノ實況ニ在リ其ノ徑庭ノ甚シキ此ノ如シ我國道路ノ革新上寔ニ寒心ニ堪ヘサル所ナリ固ヨリ土木工學ノ普遍的教育ヲ目的トスル貴校ニ在リテハ其ノ一部ニ屬スル道路工學ニノミ偏スルハ事情ノ許サ、ルモノアルヘシト雖之ヲ科外ニ講演スル等其ノ他適當ノ方法ニ依リ特ニ近代の交通ニ適應シタル道路構造ニ關スル學ト術トノ普及向上ヲ圖リ以テ我國道路革新事業ノ

完成ニ資セラレムコトヲ望ム茲ニ本會理事會ノ議決ヲ經建議候也

大正九年六月十日

道路改良會

會長 水野 鍊太郎

顧問 男爵 澁澤 榮一

北海道帝國大學附屬土木專門部主事殿

東北帝國大學工學專門部長殿

熊本高等工業學校校長殿

名古屋高等工業學校校長殿

日本大學高等工學校校長殿

岡山縣立工業學校校長殿

北海道廳立札幌工業學校校長殿

山形縣立工業學校長殿

工手學校長殿

岩倉鐵道學校長殿

東京工科學校長殿

中央工科學校長殿

早稻田工手學校長殿

攻玉社工學校長殿

東京商工學校長殿

東京工學校長殿

京都工學校長殿

大阪高工學校長殿